

ここに注目！ 3つの商店街が協定を締結し、地域景観を維持、歴史的施設を守り、観光客を集客する。



### ポイント

3つの商店街振興組合が一体となって「文化薫る街」のコンセプトのもと約10年前に商店街全体の景観を一斉に整備。このとき、商店街の景観維持のための任意の統一協定を策定し、各個店としては商売上の制約を受けることになったものの、現在までこれを順守し、テナントの入れ替わりはあるが空き店舗はない。

また、地元商業高校の学外教育活動にも平成18年から積極的に協力しており、地元松山商工会議所から他の模範になるCSR活動として顕彰を受けている。

#### [商店街概要及び取組の背景]

#### 豊富な地域資源

2車線の一方通行道路を挟み、約500mにわたり骨董屋、着物屋、画材屋、蒲団屋、和楽器屋など個性的な個店が多く集積している。周辺には小説「坂の上の雲」に関連する観光地が点在し、松山城ロープウェイ駅舎もあり観光客も多い。また、文化的要素を前面に出した「文化薫る街」をコンセプトに路面整備や商店のファサード整備を実施。これを契機に、イベント事業も活発に実施し、地域型の商店街として繁栄を続けている。

現状の課題は、景観の維持や商店街の更なる魅力づけなどとなっている。

#### [取組の概要・効果]

Plan・Do

#### 景観整備「文化薫る街」

松山市の進めた「坂の上の雲フィールドミュージアム構想」のセンターゾーンに位置する商店街としての役割を意識し、約10年前に「文化薫る街」として商店街の景観を整備したことで激変。現在では、商店街のコンセプトに同調した新しいテナントが多く出店し、ここ5



「文化薫る街」として整備された商店街

年ほどで空き店舗を出すことなくテナントの1/3が入れ替わり、新陳代謝の良い商店街となっている。

新規出店テナントには組合が入店ルール(のぼり、看板の出し方など)を指導し、商店街としての魅力維持に努めている。

#### [効果の評価と改善策の実施等]

Check・Action

#### ハード整備からソフトの充実へ

商店街のファサード整備をしたことを契機に、集客イベントも積極的に実施。イベントは、商業者だけでなく、地元商業高校や女子高とも交流を深める場ともなっている。こうした商店街の地域資源を生かしたハード整備とソフト事業の実施により、若者向けで高感度なテナントも出店し、空き店舗ゼロを維持している。こうした努力の継続によって、観光客だけでなく、従来は少なかった地元の若いカップルも訪れる商店街になってきた。

## [実施体制]

### 多様な主体との連携

松山市の進めた「坂の上の雲フィールドミュージアム構想」のセンターゾーンに位置する商店街として、市と連携して商店街の景観整備に取り組み現在に至っている。

また、整備された景観を生かしたイベント事業を積極的に展開しており、実施においては、商店街の婦人部や、地元商業高校や女子高を積極的に巻き込んでいる。

## 基本データ

所在地：愛媛県松山市大街道

会員数：200名

店舗数：150店舗

関連URL：<http://www.sakakumo.net/>



観光客で賑わう商店街



### キーパーソン

松山ロープウェー中央商店街振興組合  
理事長 松浦 吉隆

### みんなで取り組むイベントや催し

ファサード整備後、ロープウェー商店街のイメージは確実に良くなっています。しかし、消費につながる具体的な行動や来街者数は増えてきません。私たちが一番注力したいのはその部分であり、解決方法をずっと模索してきました。

幸いなことに現在は空き店舗が無く、最近の来店状況を見ても若返りの傾向にあります。そこで思い立ったのが、そういった新しい感性と魅力を活用し、商店街の形成状況や特性を生かしたイベントや催しです。役員や各オーナーとの連携、魅力のあるイベント内容、観光客へのアプローチ方法、松山城との連携、通行規制など様々な課題に対して、みんなで話し合い、みんなで手分けし、みんなで取り組みました。

### 「手づくり」の商店街を目指して

観光拠点でありながら、宿泊は道後という構図は変わりません。であれば、せめて人々が滞留し、その上で消費行動につながる仕組みが必要となります。商店街の情報発信はもちろん、各お店の魅力発信にも今後は注力していきます。また、それに合わせて各オーナーや商店街役員が連携を強固にし、色々な意見を出し合って様々な企画や整備への計画を作成、それを組合が後押しできるカタチづくりが望ましいと考えております。城山門前まつりの基本コンセプトである「手づくり」をキーワードに今後も街が一丸となって様々に取り組んでまいります。

さらに安全・安心といった社会課題に沿った問題点なども再確認し、美観だけでなく街の整備もあらためて検討していきます。

今後は、細かい問題点も疎かにせず、商店街、各店、来街者といった枠を越えて、地域企業も学校も、みんなが参加できて、みんなで喜びあえるような街にしていきたいと考えています。